

令和7年度版 授業チェックリスト



令和6年度全国学力・学習状況調査、島根県学力調査の結果より全ての教科で使えるよう作成しています。

学習指導要領が示す資質・能力を具現化した、全国学力・学習状況調査の問題や島根県学力調査の問題を各単元の導入やまとめ、振り返り等に活用しましょう。

授業前



- ☐ **ゴールに到達した子どもの姿をイメージしましたか。【評価の明確化】**
 - 身に付けさせたい資質・能力の明確化
 - 評価計画を立てる(どの場面で、どのような方法で)
- ☐ **子どもが問いをもち、追究する学びの過程を設定しましたか。【問題発見・解決能力を育む授業づくり】**
 - 子どもの実態をとらえたテーマ、教材、授業展開、発問等の構想
- ☐ **家庭学習(宿題・自主学習など)とのつながりを考えましたか。【家庭学習を見通した授業づくり】**
 - 授業前、授業後の家庭学習の目的や内容の確認

導入

「なぜ?」「どうして?」「○○を知りたい、調べたい」



- ☐ **子どもたちは、「なぜ?」「どうして?」といった思いや考えから問いをもち、めあてをもとに、1時間の授業の見通しをもちながら学習に取り組んでいましたか。【子ども目線のめあての設定】**
 - 子どもたちが興味・関心をもつことができる教材(教具等)の提示
 - 地域の教育資源(ひと・もの・こと)の効果的な活用
 - 本時の授業のめあてと見通しの確認

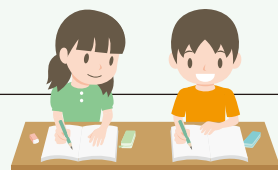


生活に関わりのある事象の教材化

展開

考えることは楽しい。仲間と一緒に考えることも楽しい。

- ☐ **子どもたちは、発問や課題に対して、めあてを意識しながら自分の考えをもち学習に取り組んでいましたか。【追究意欲の喚起】**
 - 思考をゆさぶる発問
 - 個人の考えをもつ時間の確保
 - 一人一人に合った学び方や進め方の工夫
- ☐ **子どもたちは、目的や視点を意識して話し合う活動に取り組み、根拠をもとに考え(明らかにして)、自分の考えを表現していましたか。【自分の考えの構築の支援】**
 - 目的に応じた「一斉・グループ・個人」などの学習形態の工夫
 - 教師のファシリテート力(ねらいに迫るため、話し合う活動の目的や視点を明確にする)
 - 自分の思いや考えを語尾まで話す活動、書く活動の設定
 - 自分の考えや他者の考えを説明する活動の設定
 - 1人1台端末を含めたICT機器の日常的かつ効果的な活用



『自分の言葉化』

自分の考えを語尾までしっかりと話すこと、書くこと

終末

できた! わかった! やってみたい! 次の授業が楽しみ!

- ☐ **子どもたちは、めあてに沿って振り返り、自分の言葉で表現しながらできるようになったことを自覚していましたか。【達成感・次時への意欲喚起】**
 - 1時間の授業でわかったこと、考えたこと、できるようになったこと、学び方、思考の変容、もっと知りたいことなどの振り返り(振り返りシート、伝え合い など)
- ☐ **子どもたちは、授業が終わってももっと知りたい、調べたいという意欲をもっていましたか。【家庭学習への意欲付け】**
 - 本時の学習内容を定着させる家庭学習の提示
 - 本時の学習内容を発展させる家庭学習・ヒント等の提示
 - 1人1台端末を活用した家庭学習の在り方の研究



※「ねらい」と「めあて」は、それぞれ授業者、子どもの立場で使い分けています。

※各市町村や学校によって、重点化したい項目を焦点化したり、内容を変更したりして共通理解する際の参考としても活用してください。

※「授業チェックリスト」を活用した1単位時間の授業づくりにあわせて、第2期しまねの学力育成推進プラン「令和7年度 重点アクション」を活用した単元計画も大切にしましょう。